

琉球泡盛用原料米の沖縄県内での生産について

琉球泡盛の海外輸出について

琉球泡盛は、琉球王国時代から脈々と受け継がれてきた伝統の酒であり、沖縄の歴史、文化、生活に根ざし、多くの人に愛されてきました。琉球泡盛を国内だけでなく海外にも展開し、より多くの人に知ってもらうため、宮腰沖縄及び北方対策担当大臣の強いリーダーシップのもと、昨年「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」の取組が始動しています。

現在の泡盛の原料米は、海外から輸入したインディカ米（長粒種米）が大部分を占めています。一方、日本酒やワインは、地域に根ざした原料を使用すること（テロワール）によりその付加価値を高め、海外展開につなげています。そこで、「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」の取組の一環として、泡盛メーカーの需要に応じた原料米を県内で生産し、琉球泡盛のブランド価値を高めていく取組が進められています。このことにより、今後、琉球泡盛の輸出拡大と沖縄の水田農業の活性化が期待されています。

伊平屋村における琉球泡盛用原料米の生産について

琉球泡盛の原料に適した長粒種米の栽培は、近年沖縄県内ではほとんど実績がありませんでした。

そのため、今年 2 期作からの原料米生産について、水稻主産地向けの説明会を開催し、米生産者や関係機関の皆さまに対して、本取組の目的、米生産者への支援策などを説明してきました。その結果、生産地を伊平屋村、栽培品種を YTH183 と北陸 193 号の 2 品種に決定しました。

こうした関係者の努力の結果、8 月下旬に田植えが行われ、12 月上旬頃からの収穫を経て、泡盛の醸造が開始される予定です。

今後は、本取組を継続・発展させていくため、①高品質な原料米の提供、②支援策に頼らず自走できる体制づくり、③泡盛（商品）が定番化するような認知度向上の取組などを進めていく必要があります。

伊平屋村での取組の主な概要

- ▶ 作付地：伊平屋村内の 2 地区
（島尻地区、我喜屋地区）
- ▶ 作付農家戸数：9 戸（予定）
- ▶ 品種別作付面積：YTH183 約 5ha
北陸 193 号 約 5ha
- ▶ 定植（田植え）時期：8 月下旬
- ▶ 想定収穫量：約 40t

【位置図】



伊平屋村での取組スケジュール

（実施済の取組）

- 8 月 3 日～ 4 日 種子の塩水選 *・種子消毒
*塩水に入れ、沈んだもの（健全種子）を種もみとして利用

- 8 月 6 日～ 7 日 は種
- 8 月 9 日 育苗ハウスへ移動
- 8 月下旬 定植（田植え）

（今後の予定）

- 12 月上旬～中旬 収穫
- 12 月～ 収穫した米の酒造所への搬入、泡盛の醸造開始



地元関係機関の取組について

本取組を推進するに当たり、地元伊平屋村、JA おきなわ伊平屋支店では、当局、沖縄県、沖縄県酒造組合との連携のもと、米生産者に対する説明会や栽培講習会を開催しました。

栽培講習会では、これまで県内における泡盛用原料米（長粒種米）の生産実績がほとんど無いことから、米生産者からは、品種の特性や栽培に当たっての留意点、国及び県による生産者に対する支援策など（産地交付金など）について質問が寄せられました。JA おきなわ伊平屋支店からは、「本取組を推進し生産者の所得向上につなげたい。」「JA は可能な限りサポートするので、水稻部会・組合員の協力のもと、伊平屋村での本取組を成功させたい。」と意欲的な発言がありました。

説明会などのほか、伊平屋村では、JA など関係機関と連携し、国及び県からの産地交付金など、本取組に参加する米生産者への支援を行っています。

また、沖縄県は、国立研究開発法人国際農林水産業研究センター（JIRCAS）など国の研究機関と連携を図りながら、生産者に対し、栽培に当たっての技術的課題をサポートする役割を担っています。



関係者による苗づくりの準備状況



ビニールハウスでの共同育苗の状況

沖縄県酒造組合の取組について

沖縄県酒造組合の土屋信賢専務理事から、本取組に関して、以下のとおり述べられました。

「琉球泡盛海外輸出プロジェクトやテロワールプロジェクトの取組に感謝申し上げます。琉球泡盛の出荷数量は減少傾向が続いていますが、輸出プロジェクトの 2022 年の輸出目標である 100kl の達成と国内の消費拡大に向け、業界一丸となり取り組んでいきます。」

「テロワールの取組を継続させるためには、県産長粒種米の安定供給、品質の確保が重要であり、米生産者の皆さまのご協力が必要です。泡盛業界としても取組を継続することで商品を定番化できると考えます。」

「関係各位のご協力がいただける今、できることは積極的に取り組んでいく所存です。」

(8月14日 生産振興課インタビュー)

沖縄総合事務局の取組について

沖縄総合事務局では、琉球泡盛と県産原料米を結びつけることで、生産者の経営安定化と付加価値を高めた琉球泡盛の輸出促進に向けて、関係者の協力のもと今後も積極的な取組を進めていきます。



YTH183の試験栽培の状況
(石垣島：JIRCAS試験ほ場)



YTH183の刈取り状況
(石垣島：JIRCAS試験ほ場)

伊平屋村での取組の状況



種子
(北陸193号)



8/3-4
種子の塩水選の状況



8/3-4
種子消毒の状況



は種前の
種子の状況



8/6-7
は種の状況



8/9
育苗箱を育苗ハウスへ移動



8/13
育苗ハウスの状況

問合せ先 農林水産部生産振興課

連絡先 098-866-1653